

令和6年度決算 大東市のお財布事情

毎年6月号と12月号では、市の財政状況をお知らせしています。

市ではみんなに納めていただいた税金を1年間どのように使ったかを「決算」として明らかにしているよ。
決算の内容から市の財政状況がどのように変わっているのかを一緒に見ていこう!



令和6年度決算

表1 令和6年度各会計決算額

(単位:千円)

会計名	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	翌年度に繰り越すべき財源 (C)	実質収支 (A-B-C)
普通会計				
一般会計	54,844,236	54,035,087	6,561	802,588
特別会計				
火災共済事業	12,945	10,377	0	2,568
2駅周辺整備事業	19,786	19,786	0	0
移管市営住宅事業	617,463	408,854	0	208,609
国民健康保険	12,734,020	12,693,191	0	40,829
交通災害共済事業	12,435	12,003	0	432
介護保険	11,715,425	11,659,974	0	55,451
後期高齢者医療保険	2,294,026	2,255,122	0	38,904
合計	82,250,336	81,094,393	6,561	1,149,382
普通会計外				

【表1、円グラフについて】

表1では、一般会計と7つの特別会計別に歳入(入ってきたお金)と歳出(支払ったお金)の額を示しているよ。令和6年度一般会計は昨年の3億9,200万円の黒字から増加し、8億300万円の黒字だったんだ。令和6年度は特別会計も含めた全会計で赤字はなかったよ。下の円グラフで、「一般会計」の使い道を見てみよう。



※合計額(千円)について、端数処理の関係から内訳の計と合計が一致しない場合があります。

表2では、「一般会計」の歳出を、目的別に市民1人当たりの支出額に置き換えているよ。
令和6年度も昨年度同様、臨時的な給付金の給付もあったし、民生費の金額が多くなっているね。また、小・中学校の長寿化のための工事にお金を使ったから、教育費の金額も多くなっていることが分かるね。



表2 市民1人当たりの支出

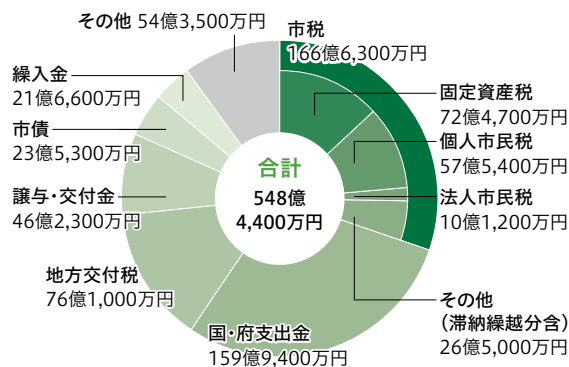
目的	1人当たりの支出額	主な内容
民生費	225,457円	社会福祉(高齢者、障害者、子ども、生活保護など)のための費用
総務費	63,476円	市政運営のための事務費や財産の維持管理、選挙などに掛かる費用
教育費	62,237円	小・中学校の施設の整備、文化事業、スポーツ事業などの教育関係の費用
土木費	42,036円	道路、橋、公園などの建設や維持のための費用
衛生費	28,842円	健康増進、予防接種、環境保全やごみ処理など、健康や衛生環境を保持するための費用
公債費	28,605円	市が建物を建てたり、事業を行う際に借り入れたお金を返す費用
消防費	13,369円	消火活動をはじめ、災害が生じた場合の被害を軽減するための費用
議会費	2,598円	市議会運営に掛かる費用
その他(商工費、農林費)	1,715円	商工業、労働、農林業に掛かる費用
計	468,335円	

市民1人当たりに使われたお金は **46万8,335円**

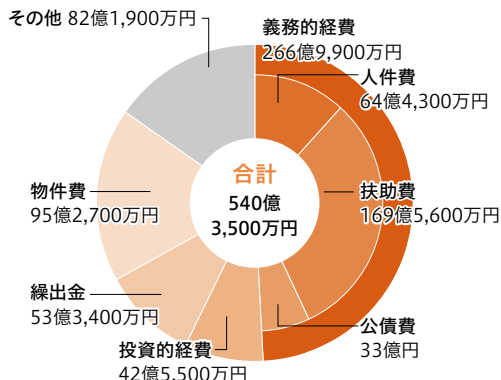
※令和7年3月31日現在の総人口(115,377人)で計算しています。

令和6年度 一般会計決算内訳

歳入(収入)合計 **548億4,400万円**

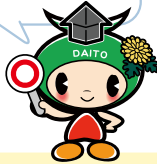


歳出(性質別に分けた支出)合計 **540億3,500万円**



令和6年度健全化判断比率

大東市は全ての指標で基準をクリアしているよ。



		大東市の比率など	早期健全化団体	財政再生団体
実質赤字比率	福祉、教育、まちづくりなどを行う一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すもの。	赤字なし	(11.99%)	(20.00%)
連結実質赤字比率	全ての会計の赤字や黒字を合算し、赤字の程度を指標化し運営の深刻度を示すもの。	赤字なし	(16.99%)	(30.00%)
実質公債費比率	借入金の返済額およびこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すもの。	2.6%	(25.0%)	(35.0%)
将来負担比率	一般会計などの借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高の程度を指標化し、将来、財政を圧迫する可能性が高いかどうか示すもの。	算定なし	(350.0%)	

【市のお財布の健康診断】

財政破綻を未然に防ぐことを目的とした法律(財政健全化法)があって、財政の健全度を診断する4つの指標を、毎年公表することが義務付けられているんだ。令和6年度は令和5年度より実質公債

費比率は改善したよ。これは、普通交付税が増加したことや、下水道事業への繰出金が減少したことが主な原因となっているんだ。市債(借入金)の現在高をみても昨年度より大きく減っていることが分かるね。

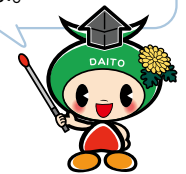


令和7年度各会計の予算執行状況

(単位:千円、%)

会計名	予算額	歳入		歳出		
		収入済額	執行率	支出済額	執行率	
一般会計	61,573,130	27,658,390	44.9	20,452,789	33.2	
特別会計	国民健康保険	13,218,599	4,554,097	34.5	4,892,408	37.0
	交通災害共済事業	25,123	880	3.5	4,431	17.6
	火災共済事業	38,145	2,875	7.5	7,480	19.6
	介護保険	12,484,859	4,731,172	37.9	5,047,656	40.4
	後期高齢者医療保険	2,410,915	703,393	29.2	647,129	26.8
	2駅周辺整備事業	715,356	19,736	2.8	9,881	1.4
	移管市営住宅事業	660,358	390,839	59.2	113,012	17.1
	合計	91,126,485	38,061,382	41.8	31,174,786	34.2

今年度の上半期(9月30日現在)までの予算の動きだよ。



※予算額、収入済額、支出済額には、前年度からの繰越を含みます。

市債の現在高

市民1人当たり/25万3,511円(昨年より5,206円減)

会計区分	令和7年9月30日現在	令和6年9月30日現在	増減額
一般会計	291億1,600万円	299億200万円	△7億8,600万円
2駅周辺整備事業特別会計	8,800万円	1億800万円	△2,000万円
合計	292億400万円	300億1,000万円	△8億600万円

※令和7年9月30日現在の総人口(115,201人)で計算しています。
 ※令和6年9月30日現在の総人口(115,996人)で計算しています。
 ※一時借入金の現在高の状況は各会計とも0円です(令和7年9月30日現在)。

【市債って何だろう?】

市の借金のことを「市債」と言うよ。借金というとよくないイメージがあるけど、そうではないんだ。みんなが使う公共施設や道路の整備をするときに、全てをその年の税金で賄ってしまうと、他の必要な仕事やサービスができなくなってしまうんだ。そこで市債を発行して分割払いにすることで、毎年の財政負担を平準化させて世代間の公平性を保ち、他の行政サービスなどにもお金を使えるようにしているよ。



市の財産

(令和7年9月30日現在)

土地	978,032.25㎡(令和7年3月31日より2754.02㎡増) 増減内容:【増】行政財産(し尿処理センター)取得による増3,119.96㎡、【減】普通財産の売払いによる減365.94㎡
建物	390,430.28㎡(令和7年3月31日時点と同様)
財政調整基金	51億8,600万円(令和7年3月31日より300万円増)
その他の基金	188億3,800万円(令和7年3月31日より1億5,500万円増)

【基金ってどういうもの?】

市の貯金のことを「基金」と言うよ。基金には、使い道が決まっている特定目的基金と、財源不足を補う財政調整基金があるよ。特定目的基金の中には公共施設や学校、市営住宅の整備など、さまざまな目的のための基金があるんだよ。その中でもふるさと振興基金は災害対策や子育て支援の充実、まちづくりなどさまざまな市民サービスの向上に使われているんだ。



これからも健全な財政運営を行います

市ホームページでは、中期財政収支見通しや、全国レベルで財政状況を比較した「財政状況資料集」など、より詳細な資料を掲載しています。

問合 財政課 ☎870・0405